

# SDGs認定審査報告書

## 大起建設株式会社様

2021年6月15日

一般社団法人全国専門能力検定協会

**SDGs認定機構**

長崎県長崎市愛宕3丁目19-23

【企業名】

大起建設株式会社

【所在地】

長崎県諫早市小野島1500番地

【事業名】

総合建設業

【達成に取り組むゴール】



【審査結果】

**認定**

申請内容を基に審査を行い、貴社が掲げるSDGsのゴールに対し、貴社の事業が達成に向けた取り組みとなっていることを認定いたします

2021年6月15日

一般社団法人全国専門能力検定協会

SDGs認定機構

■ 審査結果概要

貴社の取り組む事業は、掲げられたゴールの達成に対し、下記の理由から適合していると判断いたしました。

**3.すべての人に健康と福祉を**

貴社内では、リフレッシュ休暇の導入、内外に向けては安全パトロールの推進や子供たちの健康を願っての「食券プロジェクト」への協賛、赤十字社への寄附等を行っている点。まずは“夢をかたちに”の企業グループ・スローガンを率先垂範している点。

**4.質の高い教育をみんなに**

高校生のインターンシップとして現場実習の機会を設け、見学会等を通じて土木建築の大切さを教えたり、定年後の再雇用や嘱託就業、そして教育・技術指導 (technical guide) を継続強化している点。

**5.ジェンダー平等を実現しよう**

女性技術者の積極登用および女性リーダーの発掘にも力を注いでいる点。

## 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

既にISO9001および同14001並びに同45001国際規格を取得し、化石燃料の日常的削減に資する目的でZoom会議をいち早く導入して（移動時間の削減にも繋がる）時代の先取りを図ると同時に、夜間作業時にはLED使用で効果を挙げている点。

## 8. 働きがいも経済成長も

「建設ディレクター」を新設して“働き方改革”を推進して建設現場と司令塔である事務所との調整を質的量的に加速化させる一方、時宣を得た書類作成の支援をしている点。また働きやすい職場造りを目指して福祉プログラムの改善を導入している点。さらには、「直営班」制度を設けて農業との兼業を認める等の工夫を凝らしている点。

## 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

ICT、とりわけドローンの駆使などにより、国道のインフラ強靱化に多大な貢献を行っている点。社内においてはDAIKI 5S行動を徹底させ、従業員の“働きがい”が可能な限り業務拡大に繋がるようソフトやシステムの基盤充実を図っている点。

## 10. 人や国の不平等をなくそう

障害者の雇用、外国人高度技術者（ミャンマーから）および技能実習生（ベトナムから）受け入れ、更には定年後の再雇用を推進するなど、身体的能力や特性・国籍・世代間差別を避けて、働きたいといわれる会社に叶う配慮充実に努めている点。

## 11. 住み続けられるまちづくりを

商工会議所や中小企業家同友会等への積極的参加を通じ、地域社会への貢献を地道に継続している点。

ちなみにグループ・スローガン5C

（Change/Continue/Challenge/Chance/Consensus）は上記第9目標の5Sと並んでSDGsが求める実践絡めの画期的モットーとして海外にも紹介し得る。

## 15. 陸の豊かさを守ろう

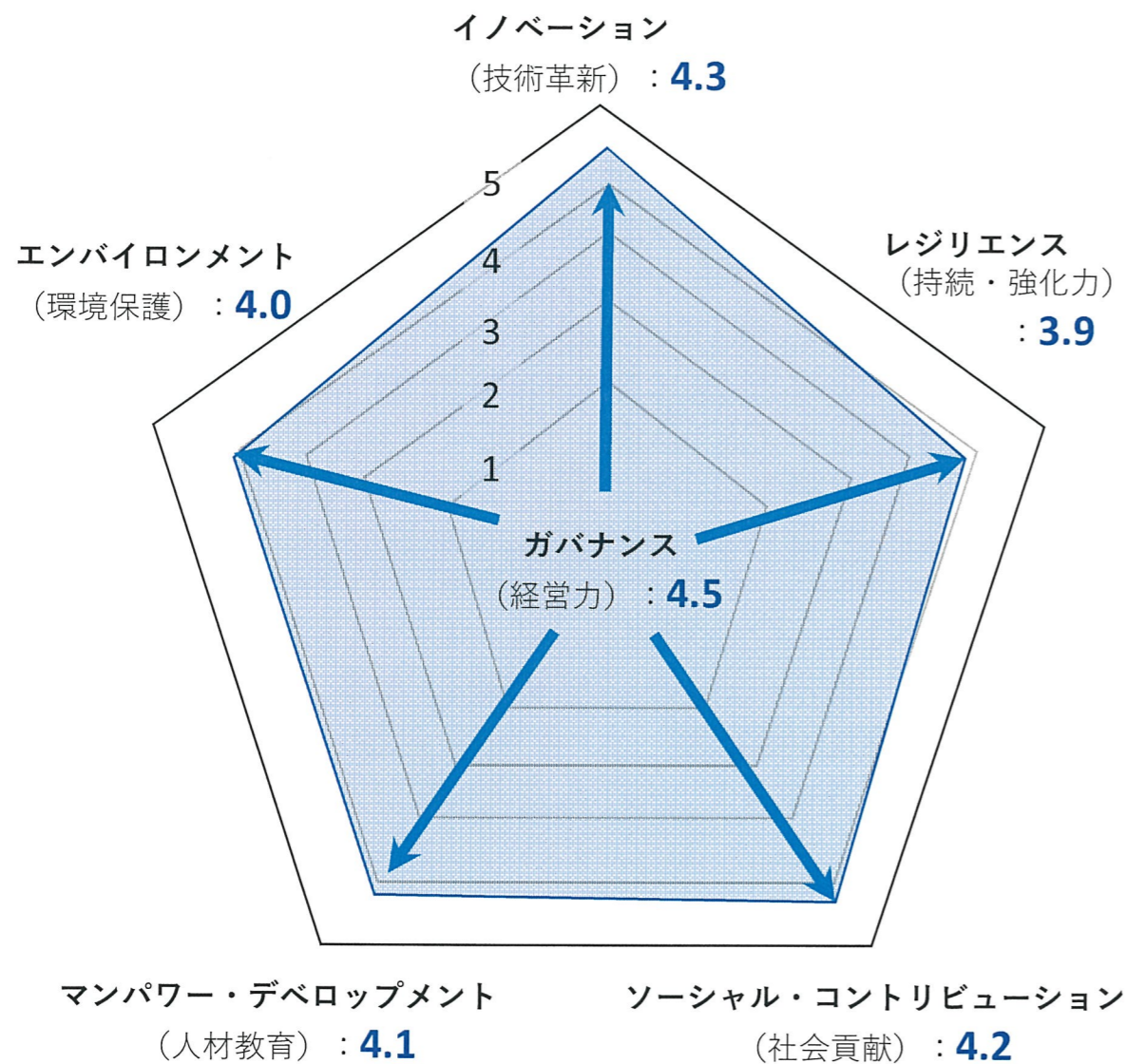
工事成績優秀企業認定に参加申請中である点。

## 17. パートナーシップで目標を達成しよう

貴社がグループ企業の有力な一員として調整役を果たし、グループ間協力のかなめ的存在として相乗効果を高めることに尽力し、かつ地域社会への貢献を強化しつつ今日に至っている点。そのためにも企業スローガンとして上記第11目標に掲げた5Cを徹底させた安全協会を設けて事故撲滅を期した業務活動を展開している点。

## ■ 認定指標による評価

貴社の取り組む事業は、国連開発計画（UNDP）の提唱する下記の指標に対し、以下の評価を満たしていることを認定いたします。



## ■ 評価理由

各指標の評価理由を以下記述いたします。

### イノベーション (技術革新) : 4.3

技術・現業職員それぞれの「習熟度」数値化を導入し、各自に合った実践向きの技術習得を向上させている点。とりわけドローンや自動追尾型のTS（測量機械）技術の習得やICTを活用した施工および、意欲の向上に注力している。SDGs目標像の取組みに関し他社との比較も含め、日進月歩の技術を取り入れると同時に、常に情報収集能力を培っている点。

### レジリエンス (持続・強化力) : 3.9

全従業員が「あいさつ」から始まる信頼・信念を念じ、社外からも親しまれる職場づくりを目指して建設事業活動を遂行している。マネジメント・システムが強固であり、既にISO国際規格9001（品質）を取得している点。

### ソーシャル・コントリビューション

#### (社会貢献) : 4.2

SDGsに対する理解・認識を深めることにより、これまで以上に社会に対する地域貢献度を高めたいとの信念が客観視可能な点。また自治体からの要請有無に拘らず、まちづくり・地域おこしといった地域活動に、従業員が積極参加することを支援している点。例えば地域清掃、草刈業のボランティア活動や国や自治体との災害協定を通じた活動にも活躍が顕著である。

## マンパワー・デベロップメント

### (人材教育) : 4.1

SDGsに取り組むことで「感謝・誠実・報恩」の信念に基づいた社員一人一人の魅力、強さ、人間力が自身の成長のみならず、地域貢献活動などを通じて企業価値を高めることに繋がることの意識が浸透し、そうした人材が育っているとみられる点。加えて従業員の方達の活躍ぶりが透明性をもって可視化できるようシステム整備中である点。

### エンバィロメント (環境保護) : 4.0

すでにISO国際規格14001 (環境) 認定を受けている等、同45001 (労働安全衛生) に加えて地域の環境問題および教育分野への「まちづくり・地域おこし」支援に熱心で、社業と地域環境との融合を推進している点。

### ガバナンス (経営力) : 4.5

企業グループ内においても共有される熟慮の成果である、理念・社訓・社是・業務方針の基にマネジメントを構築し、技術革新と環境保全を徹底して社員の幸福と地域社会への貢献に充分配慮した統合経営を行っている点。SDGs担当者および専門組織を備え、2030年を見据えた企業理念の再確認と将来ビジョンを兼ね備えている点。

## 評価・認定について

日本政府のSDGs推進本部は我が国の文脈を鑑み、新たな優先課題と実施指針を定めました。(2019.12) 一方、ほぼ同時期に国際連合 (United Nations) は、持続可能な開発を目的として重要5形態・認定指針を設けています。

この両指針を踏まえて貴社に関する評価を今回認定いたしました。どうか将来にわたって、各事項該当内容のレベルアップが持続的に図る事業活動の展開を願っております。

加えて、今後のご発展並びに協働のため、当機構が推進するSDGsマイスター検定制度への参画を切に望みます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



一般社団法人全国専門能力検定協会  
**SDGs認定機構**